

Kurilon Workshop News

No.
32

クリロンワークショップ便り
No.32 2019年5月



蔡國華:Hana



—Infomation—



デザイン：加藤麻依子（画空間）

ユーザーの声をフィルムに表現する
クリロン化成株式会社
<https://www.kurilon.co.jp>

心が豊かするために・・・
KURILON Work Shop
<http://www.kurilon.co.jp/company/workshop/>

Art Space
画 空間
<http://www.a-kukan.com/>

My Studio
My 空間
<http://www.a-kukan.com/mykukan/>



◀ 本社正門玄関前

入社式を迎えて

社入社式が執り行われました。今年度は大阪製造課、岡山製造課に高卒新入社員、技術開発課に大卒新入社員の総勢5人を迎えていました。



新入社員からの答辭では、外りロン作成の一員として社会に貢献できるよう成長していくたいと、緊張しながらも懸命に決意を述べる姿があり、初々しさの中にも頼もしさを感じました。

新入社員は、翌2日より大阪本社にて2週間の全体研修を受け、その後3工場を巡っての研修や修了試験を経て各部署へ配属となります。

これから社会人として仕事をする中で、悩みや壁にぶつかることもあるかと思いますが、何事も恐れず、一步を踏み出せる力を身に付け、大きく成長してくれる事を期待しています。

總務部
西川葉月

西川葉月

第20回 綠風会

を横断した親睦研修会があります。
入社4年目未満の若手社員が属す「緑風会」では、所属メンバーの中から立候補で実行委員を選出し、若手社員自らが研修の企画・運営を行います。

今年のテーマは「目指すべき若手クリロン社員像を考える」とし、去る3月8日から一泊二日、総勢53名が神戸に集い、ディスカッションや顧問による講義等、様々なプログラムを実施しました。

ディスカッションでは、目指すべき若手社員像を考えるにあたり、「ミスをしてしまった時にどうするか?」「業務の振り返りを日々どのように行つているか?」等、様々な切り口から議論を行いました。部署や職種が異なるメンバー一同士でも、仕事への姿勢や時間の使い方等、多くの共通点がある事が分かりました。また、オブザーバーとして参加した先輩社員から意見を貰う事で、より有意義なディスカッションとなりました。

梅谷顧問による講義では、AIやIOTの発達著しい今の時代に、人になどできない仕事という切り口から、「頼りになり愛される社員になるために」必要な事を学びました。報連相の意味や重要性を改めて知る貴重な機会となりました。

最後は、栗原社長の「期待される社員像」の講話で緑風会を締め括りました。企業にとってチームの力は重要で、若手社員であっても、むしろ若手社員だからこそ、自らの行動で周囲に良い影響を与える行動で、チームの力を引き出します。



卷之三

My 空間 Art Space

2019年2月25日～3月2日、銀座画空間で蔡國華作品展「中国・廣東の取材」が開催されました。

風光明媚な古寺や古跡が点在する広東は、中国の南方で南シナ海に面し、雨が多く高温多湿な南国の趣がある地方です。

蔡先生の目を通し画面に描かれた風景や人物は臨場感に溢れ、風や匂いまで感じられそうな会場になり、連日多勢の方々が訪れました。

D Mやパンフレットの表紙になつた「古道」(54.5×38cm)は両側を古い民家と石塀に挟まれた、鄙びた石段の上に民族衣装を身につけたような人物が描かれた作品ですが、石段の風化した時の重さや情緒ある建物が見るものを感じし、まるで物語の中に入りこんだかの様な錯覚をさせます。

古寺の傍の老木／民家の庭先で



何かをついばむ鶴／物憂げな物
売りの娘／民族衣装を身につけ
た老人の表情／古跡にきらめく
新緑／蓮池に沈む夕陽など蔡先
生の深く優しいそして鋭い眼差
しが充分に感じられる小品4点
を含む全11作品の力作でした。
蔡先生在廊の最終日はさらに多
くの来廊者で終日賑わい、大盛
況のうちに幕を閉じました。

今回の展覧会では全11作品が
網羅された三つ折りパンフレッ
トが大好評で、残り少なくなつ
ていた2019年カレンダーと
ともにお客様に喜ばれました。

2月の末から3月の初めにか
けてまだまだ寒い日もあつた会
期、お越しくださったお客様に
スタッフ一同心から感謝の気持
ちでいっぱいの6日間でした。

に「第2回ミモザまつり」を開催。ミモザバレエサークルの生徒さん（4才～10才）がお母さんにブーケをプレゼントしようと、集まってくれました。

初めてのブーケ作りに苦戦している子も、目を輝かせながら花をまとめ、さらにお母さんへの感謝の気持ちを、何色ものペンを使つて、メッセージカードに書き込んでブーケを

下村式漢字の絵本

2年前より下村昇先生とKWSの絵本チームとで構想を練り、制作を行なつてきた「下村式」なりたちシリーズとなえて楽しむ漢字の絵本」の第1巻がこの春完成し、3月1日にKWS出版より刊行されました。第1巻では、「人」や「天」などの人体の形からできた漢字がテーマとなっています。ミーティングを重ね様々な試作を行なつた過程では、方向性を定め直したりと糾余曲折の時期もあつたよう思います。しかし土台が固まつてからは、下村先生のご協力をはじめKWSメンバーの力も合わさり、無事出版を実現することがで



B5版 40頁
価格 1,500円（税別）
Amazonで発売中

下村先生の漢字への情熱や溢れる思いがこめられたこの本は全5巻を予定しています。ゆつくり「漢字のさんぽ」を楽しんでください。様々な発見のあるこの散歩、皆さま、どうぞ一緒にいかがですか?

完成させました。ちょっと覗いてみると、「『日ご飯を作ってくれてありがとう！』『色々習い事をさせてくれてありがとう！』中に『よく怒るけどお菓子をいつもいっぱい買ってくれてありがとう』（笑）というものまでありました。が、子供たちはいたつて真剣！」プレゼントされたお母さん方は満面の笑顔で「ありがとうございます！」と応えていました。日常ではなかなか感謝の気持ちを伝える機会が少ない中、毎年微笑ましい光景を見させてもらい、ほっこりとした気分に浸れる一日でした。

3月8日は国連が決めた「国際女性デー」。

▼ ミモザまつりの様子

Della
Donna